

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

事務事業名		障がい者住宅改造助成事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部
	施策	8	障がい者(児)の自立と社会参加の促進		所属課	福祉課
	業務分野	29	障がい者(児)への総合的な支援及び福祉サービスの充実		所属班	障がい福祉班
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 3	事業連番 10517
				法令根拠	合志市障害者住宅改造助成事業実施規則	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	在宅の重度の身体障がい者(児)及び知的障がい者(児)世帯に対し、在宅での自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図ることを目的として、申請に基づき住宅改造に必要な経費を助成する事業
【業務の流れ】	住宅改造実施者からの相談→実地調査及び改造方法の助言(必要に応じて住宅改修相談員に依頼)→助成金交付申請受付→助成金交付決定→住宅改造実施→実績報告、助成金の請求→助成金の支給
【主な予算費目】	委託料、補助金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

重度の身体・知的障がい者の在宅生活に必要な住宅改造について、周知及び相談対応を行った。
【基準に達しなかった理由】今年度は相談が数件あったが、所得要件等により助成には至らなかったため。

【障がい者住宅改造助成】

令和4年度 2人 令和5年度 1人 令和6年度 0人

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

重度の身体・知的障がい者の在宅生活に必要な住宅改造に対し、経費の助成を行う。

③予算の主な増減の理由

前年度実績に伴う助成金額の減

成果指標

ア 実際に助成を受けた者の数

(単位)

人

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア 人	人	2	1	2	0	2	2	2	2
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	466	193	900		450	450	450
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	488	205	922		461	461	461	461
(A) 事業費計	千円	954	398	1,822	0	911	911	911	911

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

本年度は周知及び相談のみで助成にはいたってないが、在宅の重度の身体障がい者(児)及び知的障がい者(児)世帯に対し、在宅での自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図ることを目的として、申請に基づき住宅改造に必要な経費を助成する事業であり継続的に事業を実施する。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)